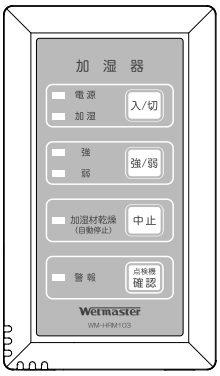
Wetmaster®

施工業者様向け

グリッド てんまい加湿器®

天埋カセット型、滴下浸透気化式加湿器

設定要領書



加湿器本体

VCJ1501/VCJ1501A
【600角/640角グリッド天井対応型】

リモコンスイッチ

標準リモコンスイッチ (VKRM-3)
ヒューミ付リモコン (HRM103)

VCJ1501、VCJ1501A は構造・制御が異なるため、
現地での変更、機能追加はできません。

- このたびはウエットマスター滴下浸透気化式加湿器をご採用いただき、まことにありがとうございます。
- この設定要領書には加湿器運転のために必要な設定手順や出荷時設定から変更を行う場合の手順、安全についての注意事項などを記載しています。この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、作業の前に必ずお読みいただき、正しい設定を行ってください。
- 本書の内容以外に関する説明は下記を参照し、該当するドキュメントをご確認ください。

施工要領書	試運転作業要領書	取扱説明書
加湿器本体の取付、給排水接続、電気配線（計装）など、加湿器の施工に関する説明を記載しています。	施工およびリモコンスイッチ初期設定完了後、加湿器が正常に作動するかの試運転手順について記載しています。	運転動作、運転管理、一般保守要領など、加湿器の取り扱いについて記載しています。

もくじ

安全のために必ず守ること…… 1

1 はじめに
1-1 本書の見方……2
1-2 出荷時設定一覧……3
1-3 設定作業の位置と詳細……4

2 リモコンスイッチ初期設定 **試運転前設定必須**
2-1 アドレスの設定方法……6
2-2 加湿器本体接続台数の確認方法……6

3 外部信号出力設定
3-1 警報信号出力（外部信号出力）を使用する場合……7
3-2 運転信号出力（外部信号出力）を使用する場合……8

4 外部機器との連動運転設定
4-1 加湿器とリモコンスイッチの組み合わせと連動運転設定……9
4-2 ヒューミ付リモコンで連動運転を行う場合……10
4-3 加湿器本体内蔵ヒューミディスタットで連動運転を行う場合……11

5 外部指令信号入力を行う場合の設定……12

6 運転動作
6-1 リモコンスイッチによる運転動作……13
6-2 基本的な運転動作……13
6-3 リモコンスイッチ、外部指令信号入力の後押し優先機能……14
6-4 運転動作と外部信号出力（運転信号、警報信号）……14

7 ヒューミ付リモコンによる各種設定
7-1 各モードについて……15
7-2 設定モード……16
a 使用するヒューミディスタットの選択……16
b ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器との連動運転設定……17
c 湿度検知の感度変更……18
d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の湿度設定の変更……19
7-3 設定確認モード……20
7-4 設定初期化モード……22

8 VCJ1501A内蔵ヒューミディスタットの設定湿度変更……23

9 標準グループ制御以外の制御パターンについて
9-1 グループ制御パターンの確認……24
9-2 VCJ1501A内蔵ヒューミディスタットを無効化する……25
9-3 ヒューミ付リモコンで湿度検知するヒューミディスタットを選択する……26
9-4 VCJ1501A 内蔵ヒューミディスタットを無効化し、ヒューミ付リモコンで湿度検知するヒューミディスタットを選択する 27
9-5 使用できない制御パターン……28

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、取り扱ってください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重大な内容です。必ず守ってください。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡、重症を負う可能性があるもの
⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生に結びつくもの

- 図記号の意味は以下のとおりです。

必ず守る	絶対しない	触らない	濡れ手禁止 絶対に濡れた手で触らない	水濡れ禁止 絶対に水に濡らさない

⚠警告

必ず守る

取付工事は、専門業者に依頼する

取付工事に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。

必ず守る

高所作業時の安全を確保する

高さが２メートル以上の箇所で作業を行うときは、適正な足場を確保し安全帯を使用する等、墜落による作業者の危険を防止するための措置を講じてください。

必ず守る

作業時は、けが防止のため保護用手袋を着用する

やけど・けがの原因になります。

必ず守る

ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う

通電したままの作業は感電の原因になります。

必ず守る

活線作業を行う際は、絶縁用保護具を着用するか、活線作業用器具を使用する

適切な保護具、器具を使用しない場合、感電の原因になります。

必ず守る

電気配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する

接続や固定が不完全な場合、発煙、火災の原因になります。

必ず守る

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規定」および製品添付の説明書類に従って施工する

電源回路要領不足や取付不備があると感電・火災の原因になります。

必ず守る

加湿器元電源には、必ず加湿器専用の漏電ブレーカを取り付ける

漏電ブレーカが取り付けられていないと、感電の原因になります。

絶対しない

改造はしない

故障や水もれ・感電・火災の原因になります。

水濡禁止

加湿器本体・リモコンスイッチに水、液体をかけない

ショート・漏電・感電・事故・発煙・火災の原因になります。

濡手禁止

濡れた手で電気部品に触ったり、スイッチ・ボタンを操作しない

感電・事故・発煙・火災の原因になります。

触らない

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触らない

やけど・感電の原因になります。

⚠注意

必ず守る

水道法、消防法等に規制される部材の取り扱いについては、専門業者に依頼する

法令を遵守した施工が必要です。

絶対しない

濡れて困る物の上に加湿器を設置しない

適切にメンテナンスがされていない場合、水もれの恐れがあります。

必ず守る

アース接続（D 種接地工事）を行ってください

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

絶対しない

移動できないものの上に加湿器を設置しない

後々のメンテナンスができなくなる恐れがあります。

1 はじめに

1-1 本書の見方

- てんまい加湿器 VCJ タイプは、加湿器本体・リモコンスイッチそれぞれに、ヒューミディスタット機能有 / 無を用意しており、それぞれの機器組み合わせにより設定作業の項目が異なります。
- 本書では、各設定項目の作業に該当する加湿器本体、リモコンスイッチ、湿度検知機器の組み合わせを以下のように記しています。また、本書ではヒューミディスタット（湿度調節器）を「ヒューミ」または「HS」と略して表記する場合があります。
- 制御グループパターンイメージ図中の○は湿度検知するヒューミディスタット、×は使用しないヒューミディスタットを表します。

例 1）全ての機器構成で対象となる設定作業。

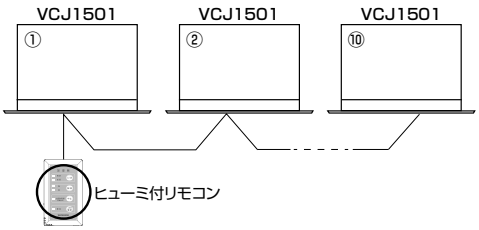
機器構成が該当する設定作業

機器構成が該当しない設定作業

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

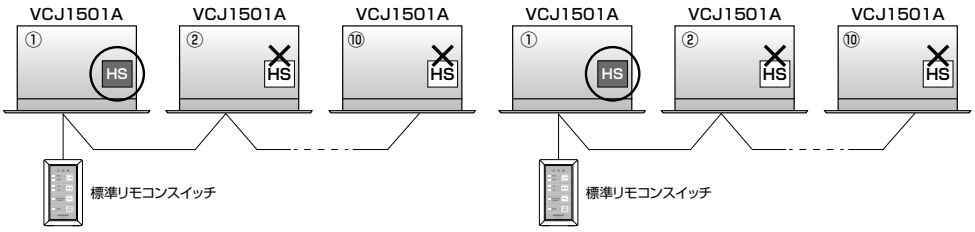
例 2）VCJ1501 にヒューミ付リモコンを接続しヒューミ付リモコンで湿度検知を行う場合で対象となる設定作業。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A



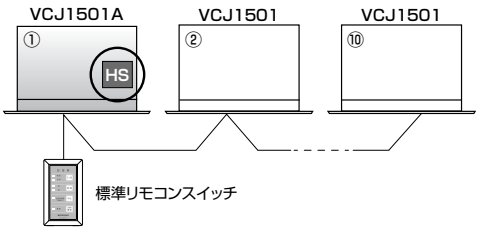
例3）VCJ1501A に標準リモコンスイッチまたはヒューミ付リモコンを接続し、加湿器本体内蔵のヒューミディスタットで湿度検知を行う場合で対象となる設定作業。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A



例 4）VCJ1501 と VCJ1501A に標準リモコンスイッチを接続し、VCJ1501A 内蔵のヒューミディスタットで湿度検知を行う場合で対象となる設定作業。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A



1-2 出荷時設定一覧

●本加湿器の出荷時の設定状態は以下の通りです。

●**[基本設定]のリモコンスイッチ初期設定は、はじめての加湿器運転前には必ず設定が必要です。設定しない場合、加湿器は運転しません。**

●各項目で出荷時設定から変更が必要な場合は、設定変更手順参照ページを参考に設定変更を行ってください。

[基本設定]

設定項目	設定内容	設定変更手順参照ページ
リモコンスイッチ初期設定	**出荷時未設定　※はじめての加湿器運転前には、必ず設定してください。**	P.6 参照
外部指令信号入力による遠方発停	**常時入力信号〔出荷時設定〕**	P.12 参照
	瞬時入力信号	

[ヒューミ付リモコン使用時の設定]

設定項目	設定内容								設定変更手順参照ページ
湿度検知を行う機器	**ヒューミ付リモコン〔出荷時設定〕**								P.16 参照
	加湿器本体内蔵ヒューミ、または客先ご用意の外部ヒューミ								
ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器との連動運転	**しない〔出荷時設定〕**								P.17 参照
	する								
ヒューミ付リモコンによる湿度検知の感度設定	**高い〔出荷時設定〕**								P.18 参照
	低い								
ヒューミ付リモコンによる湿度検知時の設定湿度	35% RH	**40% RH〔出荷時設定〕**	45% RH	50% RH	55% RH	60% RH	65% RH	70% RH	P.19 参照

[加湿器本体内蔵ヒューミ使用時の設定]

設定項目	設定内容								設定変更手順参照ページ
加湿器本体内蔵ヒューミによる湿度検知時の設定湿度	35% RH	**40% RH〔出荷時設定〕**	45% RH	50% RH	55% RH	60% RH	65% RH	70% RH	P.23 参照

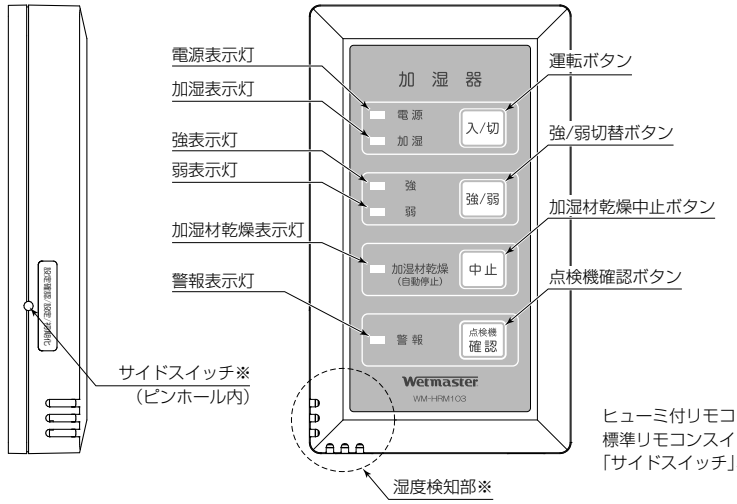
[便利機能] この機能を使用しない場合も、加湿器は運転できます

機能項目		使用例	設定手順参照ページ
外部信号出力	警報信号出力	警報発報の状態監視を行う場合	P.7 参照
	運転信号出力	スイッチ切り忘れ防止の遠方監視を行う場合**〔出荷時設定〕**	P.8 参照
		実際に加湿運転しているかどうかの状態監視を行う場合	
外部機器との連動運転		空調機などの外部機器との連動運転を行う場合	P.9 参照

1-3 設定作業の位置と詳細

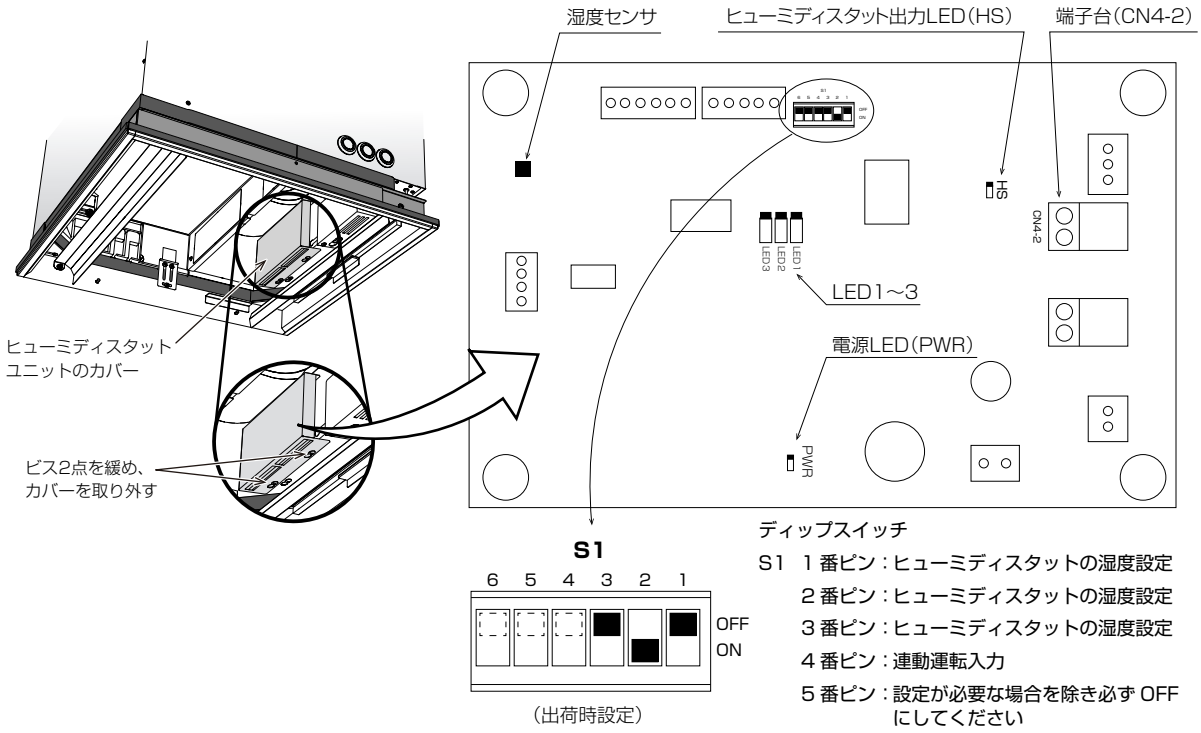
●設定項目により「リモコンスイッチで行う設定作業」、「加湿器本体内ヒューミディスタットユニットのディップスイッチで行う設定作業」、「加湿器本体内コントロールユニットのディップスイッチで行う設定作業」があります。それぞれの位置詳細は図 -1 ～図 -3 のとおりです。

図 -1 リモコンスイッチ詳細



ヒューミ付リモコンを例に説明しています。
標準リモコンスイッチには図中※の
「サイドスイッチ」、「湿度検知部」はありません。

図 -2 VCJ1501A ヒューミディスタットユニット詳細

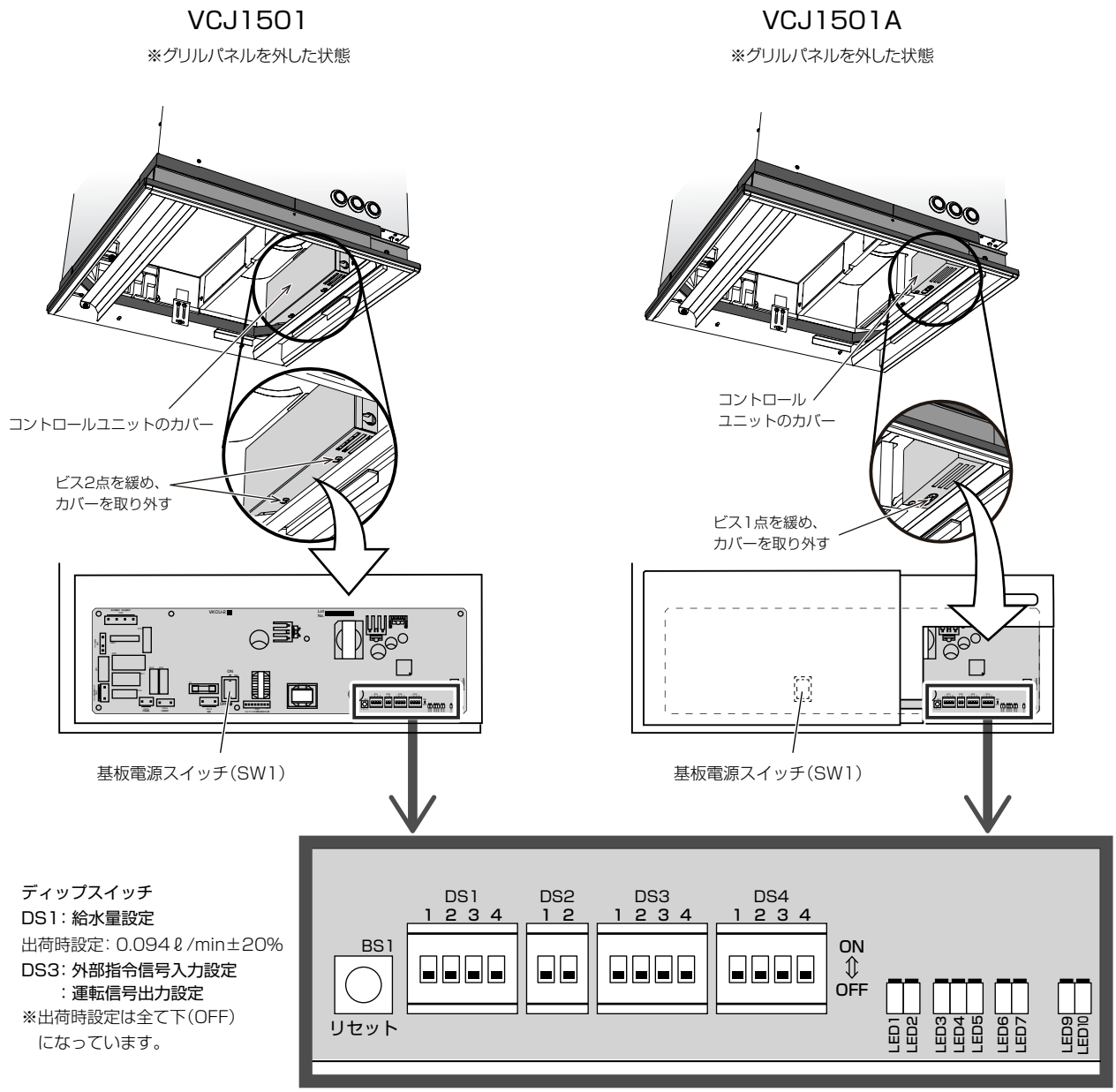


ディップスイッチ

S1　1 番ピン：ヒューミディスタットの湿度設定
　　2 番ピン：ヒューミディスタットの湿度設定
　　3 番ピン：ヒューミディスタットの湿度設定
　　4 番ピン：連動運転入力
　　5 番ピン：設定が必要な場合を除き必ず OFF にしてください
　　6 番ピン：必ず OFF にしてください

LED 番号（色）	LED 点灯表示内容
PWR（緑）	VCJ1501A に内蔵されたヒューミディスタットに電源が供給されている時に点灯
HS（赤）	ヒューミディスタットが ON の時に点灯
LED1（赤）	ヒューミディスタット制御センサで異常が発生し、 ヒューミディスタット出力が停止している時に点滅（0.25 秒サイクル）、または点灯
LED2（緑）	ヒューミディスタット制御センサ以外で異常が発生している時に点滅（0.25 秒サイクル）
LED3（緑）	起動処理中に点灯（電源 ON から初回の測定開始までの 1 秒間）、起動完了後に点滅（1 秒間サイクル）

図 -3 コントロールユニット外観略図と LED 表示内容



LED 番号 (色)	LED 点灯表示内容
LED1（緑）	リモコン通信時にゆっくり点滅（0.5 秒サイクル）、通信不通時は早い点滅（0.1 秒サイクル）
LED2（黄）	給水ユニット作動回数に応じて点滅 / 点灯（50 万回以上作動時＝ 0.5 秒サイクルの点滅、 95 万回以上作動時＝ 0.1 秒サイクルの点滅、100 万回作動時＝点灯）
LED3（赤）	ドレンパン高水位検知時に点灯〔点灯解除の方法はリセットスイッチ（BS1）を押す〕
LED4（緑）	漏水検知時に点灯〔点灯解除の方法はリセットスイッチ（BS1）を押す〕
LED5（黄）	給水電磁弁リーク検知時またはドレン排水用ポンプ排水異常検知時に点灯 〔点灯解除の方法はリセットスイッチ（BS1）を押す〕
LED6（赤）	予備
LED7（緑）	ドレン排水用ポンプ排水異常検知時に点灯〔点灯解除の方法はリセットスイッチ（BS1）を押す〕
LED9（赤）	予備
LED10（緑）	ドレン排水用ポンプ運転時に点灯

2 リモコンスイッチ初期設定 試運転前設定必須

2-1 アドレスの設定方法

リモコンスイッチと加湿器本体を結線した後、加湿器の運転前にはアドレスの設定が必要です。アドレスの設定をすることで、当該リモコンスイッチに接続されている加湿器本体台数の認識、設定を行います。この設定がされていない場合、加湿器を運転することができません。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

●以下の点を確認してアドレスの設定を行ってください。

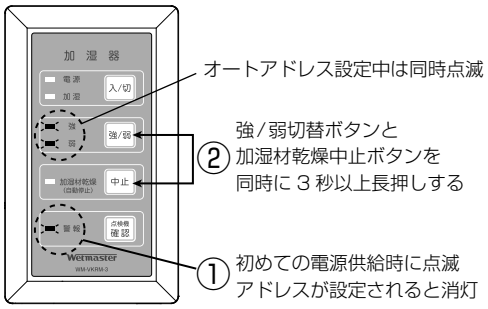
□リモコンスイッチと加湿器本体間の配線接続（C1、C2）が終了している。
□1つのリモコンスイッチで複数の加湿器本体を制御する場合、各加湿器本体間の渡りの配線接続（C1、C2）が終了している。
□1つのリモコンスイッチで複数の加湿器本体を制御する場合、加湿器本体は 10 台以下であること。

【動画】
リモコンスイッチ初期設定

① 1 つのリモコンスイッチに接続している**すべての加湿器に電源を供給する（加湿器元電源の漏電ブレーカを ON）**。
- 電源供給の際、全ての表示灯が点滅（約 5 秒間）します。その後、警報表示灯が点滅し続けますが、アドレスが設定されると消灯します（図 -4 ①）。

②強 / 弱切替ボタンと加湿材乾燥中止ボタンを同時に 3 秒以上長押しする（図 -4 ②）。
- 以上の操作を行うと自動でアドレスの設定が行われます（オートアドレス機能）。
- オートアドレス設定中は強表示灯・弱表示灯が 0.5 秒間隔で同時に点滅し、約 1 分後に消灯します。その後、加湿表示灯が加湿器本体接続台数分の回数を 0.5 秒間隔で点滅し、3 回繰り返した後消灯します。以上でアドレスの設定は終了です（所要時間最大 2 分）。

図 -4 アドレスの設定方法



※イラストは標準リモコンスイッチで表していますが、ヒューミ付リモコンの場合も同様です。

表 -1 アドレス設定時のリモコンスイッチ表示

表示灯	電源 ON 時（約 5 秒間）	アドレスの設定			
		設定前	設定中	設定終了時	終了後
電源	☼	—	—	—	—
加湿	☼	—	—	☼※	—
強	☼	—	☼	—	—
弱	☼	—	☼	—	—
加湿材乾燥	☼	—	—	—	—
警報	☼	☼	—	—	—

▪ 表内の ☼ は点滅を示します。

※アドレスの設定終了時は接続台数分の点滅を3回繰り返します。
（例）加湿器4台接続の場合
加湿表示灯点滅 4 回を3回繰り返す

●オートアドレス設定中は、リモコンスイッチの何れのボタンを押しても反応しません。
● 1 台もアドレスの設定ができなかった場合は、警報表示灯が点滅します。
●加湿表示灯が接続台数分の回数を点滅しなかった場合や警報表示灯が点滅した場合、正しくアドレスの設定ができていません。P.5 図 -3 を参照し、コントロールユニットの LED1（緑）が「点滅していない」、または「早い点滅（0.1 秒サイクル）」となっていないかを確認してください。「点滅していない」場合には電源を確認してください。「早い点滅（0.1 秒サイクル）」の場合にはリモコンスイッチ配線および本体間の渡りの信号配線（C1, C2）を確認し、再度アドレスの設定を行ってください（再設定を行う場合、上記②からの操作となります）。

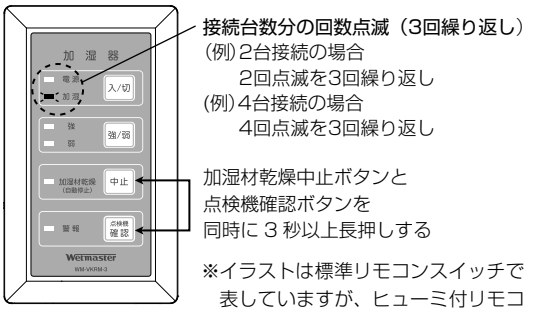
2-2 加湿器本体接続台数の確認方法

●下記方法でアドレスの設定終了後にリモコンスイッチ 1 台に加湿器本体が何台接続されているかを確認できます。
①表示灯が全て消灯していることを確認する。
②加湿材乾燥中止ボタンと点検機確認ボタンを同時に 3 秒以上長押しする（図 -5）。

以上で接続台数確認を開始し、確認終了後自動的に終了します。

●接続台数の表示は表 -1 のアドレスの設定終了時と同じです。加湿表示灯が加湿器本体の接続台数分の回数を 0.5 秒間隔で点滅し、3 回繰り返した後に消灯します。

図 -5 接続台数確認方法



※イラストは標準リモコンスイッチで表していますが、ヒューミ付リモコンの場合も同様です。

3 外部信号出力設定

3-1 警報信号出力（外部信号出力）を使用する場合

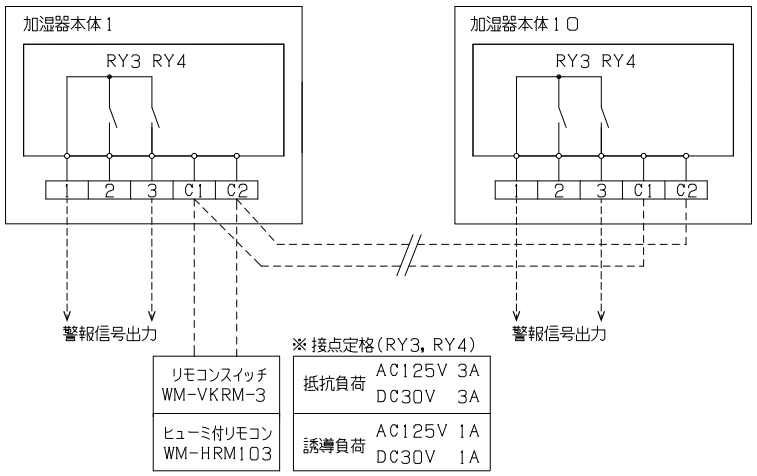
加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

- 1 つのリモコンスイッチで複数台制御する場合、警報信号は各加湿器の端子 1,3 から出力されます。
- 警報信号は安全保護機能が作動した時に出力されます。

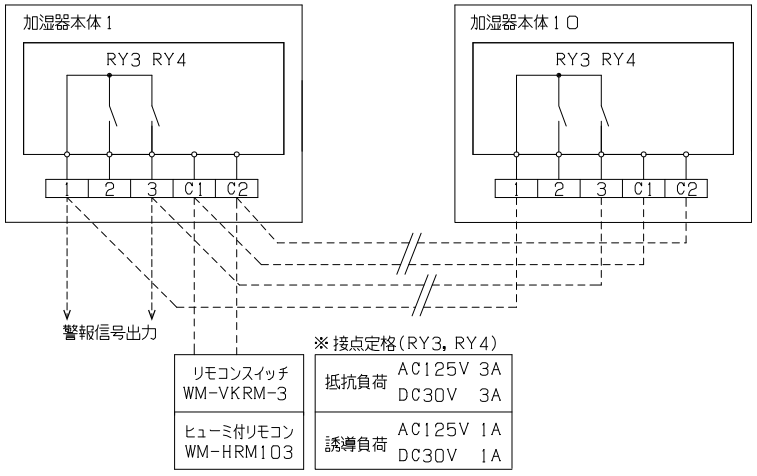
警報信号を出力させる場合

運転ボタン「入」、または外部指令信号入力「ON」で運転信号を出力します

個別に警報出力させる場合



グループ毎に警報出力させる場合



※破線部分は客先ご用意となります。

※加湿器本体端子台への配線は絶縁丸端子（M4 ねじ用）を使用し、線径は（C1,C2）0.5 ～ 0.75mm^2 をご使用ください。

警報信号出力

・無電圧接点出力（a 接点）

抵抗負荷	AC125V 3A DC30V 3A
誘導負荷	AC125V 1A DC30V 1A

安全保護機能

1）ドレンパン高水位検知
（運転停止 / 警報表示灯点灯）
2）漏水検知
（運転停止 / 警報表示灯点灯）
3）給水電磁弁リーク検知
（運転停止 / 警報表示灯点灯）
4）ドレン排水用ポンプ排水異常検知
（運転停止 / 警報表示灯点灯）

3-2 運転信号出力（外部信号出力）を使用する場合

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

⚠警告

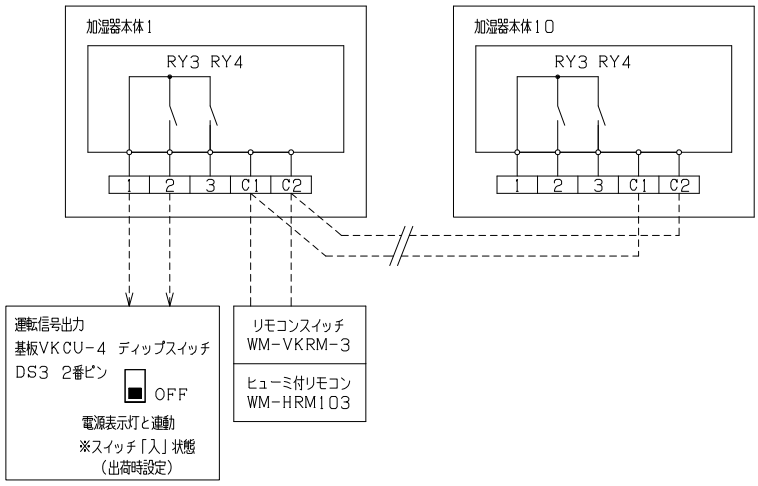
ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う

❗通電したままの作業は感電の原因になります。

- 1 つのリモコンスイッチで複数台制御する場合、運転信号は各加湿器の端子 1, 2 から個別に出力されます。
- 運転信号はリモコンスイッチの電源表示灯（運転ボタン「入」の状態）と連動して出力されます（出荷時設定）。加湿表示灯（運転ボタン「入」かつヒューミ「ON」の状態）と連動させる場合は、加湿器本体コントロールユニット（P.5 図 -3 参照）のディップスイッチ（DS3 2 番ピン）を切り替えてください。
- ディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にし、電源供給を停止してから行ってください。通電したままディップスイッチ切替作業を行うと、設定変更が正しく反映されません。

運転信号の出力 / リモコンの「電源表示灯」と連動させる場合（出荷時設定）

運転ボタン「入」、または外部指令信号入力「ON」で運転信号を出力します

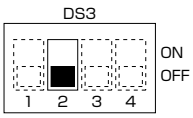


運転信号出力

・無電圧接点出力（a 接点）

抵抗負荷	AC125V 3A DC30V 3A
誘導負荷	AC125V 1A DC30V 1A

ディップスイッチ設定



備 考

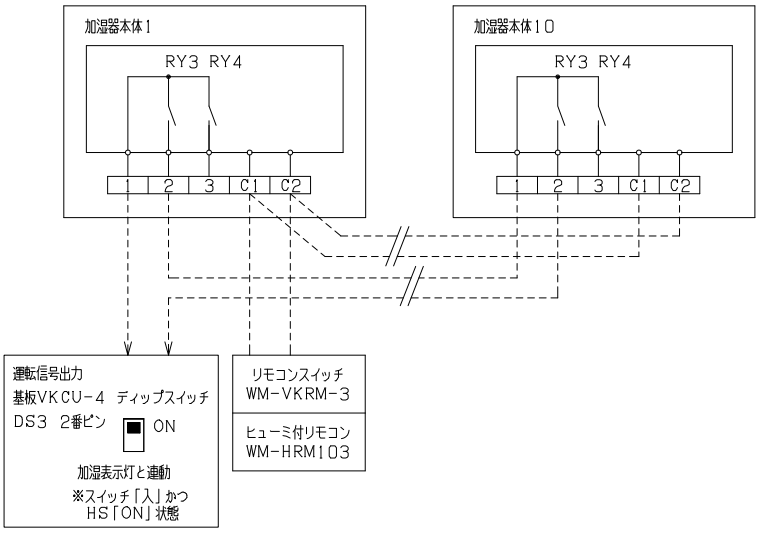
スイッチ切り忘れ防止の遠方監視を行う場合に使用します。

※破線部分は客先ご用意となります。

※加湿器本体端子台への配線は絶縁丸端子（M4 ねじ用）を使用し、線径は（C1,C2）0.5 ～ 0.75mm^2 をご使用ください。

運転信号の出力 / リモコンの「加湿表示灯」と連動させる場合

運転ボタン「入」、または外部指令信号入力「ON」かつヒューミディスタット入力「ON」で運転信号を出力します

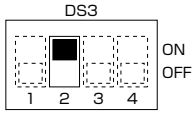


運転信号出力

・無電圧接点出力（a 接点）

抵抗負荷	AC125V 3A DC30V 3A
誘導負荷	AC125V 1A DC30V 1A

ディップスイッチ設定



備 考

実際に加湿運転しているかどうかの状態監視を行う場合に使用します。

※破線部分は客先ご用意となります。

※加湿器本体端子台への配線は絶縁丸端子（M4 ねじ用）を使用し、線径は（C1,C2）0.5 ～ 0.75mm^2 をご使用ください。

4 外部機器との連動運転設定

4-1 加湿器とリモコンスイッチの組み合わせと連動運転設定

当項目は、VCJ1501・標準リモコンスイッチの組み合わせには該当しません。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

- 外部機器との連動運転の設定方法は、加湿器本体とリモコンスイッチの組み合わせにより設定方法が異なります。特に VCJ1501A とヒューミ付リモコンの組み合わせにおいて、「ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器との連動運転を行う設定」はできません。
- 表 -2 は加湿器本体とリモコンスイッチの組み合わせによる外部機器連動の設定作業の有無を示したものです。

表 -2 加湿器本体とリモコンスイッチの組み合わせによる外部機器連動の設定作業

加湿器本体とリモコンスイッチの組み合わせ			連動運転設定可否	外部機器との連動運転設定の概要	参照項
加湿器本体	リモコンスイッチ	湿度検知			
VCJ1501	標準リモコンスイッチ	なし	×	この組み合わせでは外部機器との連動運転を行う設定はできません	−
		外部ヒューミディスタット			
	ヒューミ付リモコン	ヒューミ付リモコン	○	ヒューミ付リモコンの外部機器連動の設定が必要	P.10「4-2 ヒューミ付リモコンで連動運転を行う場合」
		外部ヒューミディスタット	×	この組み合わせでは外部機器との連動運転を行う設定はできません	−
VCJ1501A	標準リモコンスイッチ	加湿器本体	○	加湿器本体内ディップスイッチの設定が必要	P.11「4-3 加湿器本体内蔵ヒューミディスタットで連動運転を行う場合」
		外部ヒューミディスタット	×	この組み合わせでは、外部機器との連動運転はできません	−
	ヒューミ付リモコン	ヒューミ付リモコン	×	ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合、外部機器との連動運転はできません	−
		加湿器本体	○	加湿器本体内ディップスイッチの設定が必要	P.11「4-3 加湿器本体内蔵ヒューミディスタットで連動運転を行う場合」

4-2 ヒューミ付リモコンで連動運転を行う場合

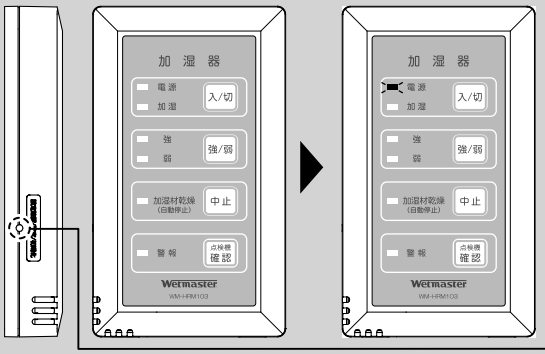
当設定の対象組み合わせ	・VCJ1501 とヒューミ付リモコン

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

●以下の①ヒューミ付リモコン設定と、②配線接続を行ってください。

①ヒューミ付リモコン設定

1



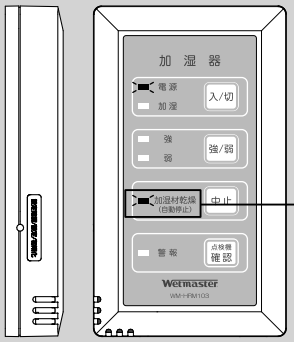
1 -1 外部機器の接点を OFF にします。

1 -2 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源OFF）で、サイドスイッチを 3 秒間長押しします。

1 -3 電源表示灯（緑）が点灯します。

サイドスイッチ
※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

2



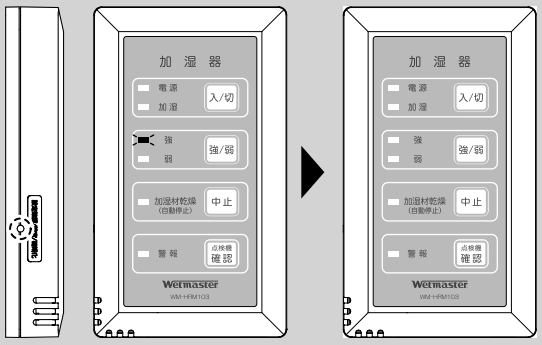
例）加湿器と外部機器を連動運転する

2 加湿器と外部機器を連動する場合は下記表を参照し、加湿材乾燥表示灯 を点灯させてください。加湿材乾燥表示灯の点灯 / 消灯は、加湿材乾燥中止ボタンを押すことで切り替えができます。

外部機器と連動運転する場合	加湿材乾燥表示灯を**点灯**に切り替える
外部機器と連動運転しない場合（出荷時設定）	加湿材乾燥表示灯を**消灯**に切り替える

※加湿材乾燥表示灯に加え、弱表示灯や警報表示灯が点灯する場合は、出荷時設定から何らかの設定変更がされています。現状の各設定内容を確認する場合は、P.20「7-3 設定確認モード」を参照してください。

3



3 -1 サイドスイッチを 2 回押します。

3 -2 強表示灯（橙）が 3 秒間点灯します。

3 -3 電源が OFF となり、設定保存が完了します。

※設定した内容を改めて確認する場合は、P.20「7-3 設定確認モード」で確認できます。

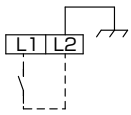
②配線接続

●外部機器の運転出力は加湿器本体の端子台 L1,L2（無電圧接点入力）に接続してください。

※無電圧接点には、最小適用負荷 10mA 以下の接点をご使用ください。また、接点検出用電圧を印加していますので別電源から電圧を印加しないでください。

※外部機器が OFF の時にリモコンスイッチの操作と、外部指令入力による運転が無効となり、加湿器単独の運転を制限することができます。この状態で運転ボタンを押した場合、電源表示灯と加湿表示灯が3秒間交互に点灯します。ただし外部指令入力による運転指示の場合には表示灯は交互点灯しません。

配線接続



通電電圧	電流
DC12V	10mA

（無電圧接点入力）

運転時に ON、停止時にOFF となる接点信号を入力してください。

4-3 加湿器本体内蔵ヒューミディスタットで連動運転を行う場合

当設定の対象組み合わせ	・VCJ1501A と標準リモコンスイッチ またはヒューミ付リモコン

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

⚠ 警告

ディップスイッチ切替作業は、
必ず漏電ブレーカを遮断してから行う

❗ 通電したままの作業は感電の原因になります。

●以下の①配線接続と②ディップスイッチ設定を行ってください。なお、「VCJ1501A とヒューミ付リモコン」の組み合わせでご使用の場合は先に、P.16「a 使用するヒューミディスタットの選択」を参照し、湿度検知するヒューミディスタットを「加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタット」へ設定してから、下記①～②の作業を行ってください。

①配線接続

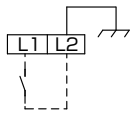
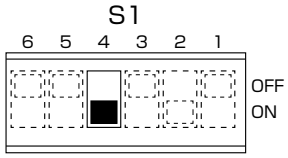
外部機器の運転出力は加湿器本体の端子台 L1, L2（無電圧接点入力）に接続してください。

※無電圧接点には、最小適用負荷 1mA 以下の接点をご使用ください。また、接点検出用電圧を印加していますので別電源から電圧を印加しないでください。

②ディップスイッチ設定

ヒューミディスタットユニットのディップスイッチ（S1 4 番ピン）を ON にしてください（表 -3 参照）。

表 -3 加湿器本体内蔵ヒューミディスタットで連動運転を行う場合の設定方法

配線接続	ディップスイッチ設定
 通電電圧 DC5V / 電流 1mA （無電圧接点入力） 運転時に ON、停止時にOFF となる接点信号を入力してください。	 ※出荷時設定は OFF になっています。 ディップスイッチの位置は P.4 図 -2 参照。

5 外部指令信号入力を行う場合の設定

⚠警告

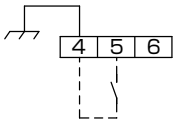
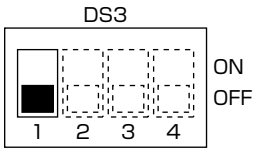
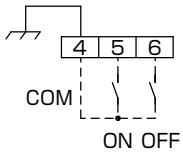
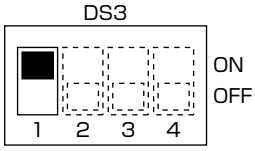
ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う

❗通電したままの作業は感電の原因になります。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

- 外部指令信号入力による遠方発停（外部指令制御）が可能です（この場合においてもリモコンスイッチの取付が必要となります）。
- 1 つのリモコンスイッチで複数台制御する場合でも、端子 4, 5（4, 5, 6）への接続は「加湿器本体 1」のみで全数の運転制御ができます。グループを一括制御する場合は別冊の施工要領書の各結線参考図、結線要領図を参照し、結線してください。
- 外部指令信号入力は「常時入力信号」と「瞬時入力信号」に対応しています。出荷時設定は常時入力信号の状態に設定されていますので、瞬時入力信号を使用する場合は、配線接続と加湿器本体コントロールユニットのディップスイッチ（DS3 1 番ピン）を切り替えてください(表 -4)。
- ディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にし、電源を遮断してから行ってください。通電したままディップスイッチ切替作業を行うと、設定変更が正しく反映されません。
- 外部指令制御を使用する場合、任意の発停は「リモコンスイッチ操作による発停」と「外部指令信号入力による発停」により行われ、「後押し優先」となります。

表 -4 外部指令信号入力による遠方発停（外部指令制御）を使用する場合のディップスイッチ設定

信号の種類と配線接続			ディップスイッチ設定	備考
常時入力信号 （出荷時設定）		通電電圧・電流 DC12V・10mA （無電圧接点入力）		運転時に ON、停止時に OFF となる接点信号を入力してください。 ※ディップスイッチの位置は P.5 図 -3 参照。
瞬時入力信号		通電電圧・電流 DC12V・10mA （無電圧接点入力）		瞬時入力信号は、100msec(0.1 秒)以上の a 接点の信号を入力してください。 ※ディップスイッチの位置は P.5 図 -3 参照。

6 運転動作

6-1 リモコンスイッチによる運転動作

表 -5 リモコンスイッチの表示　　（点灯：○、消灯：－ を示します）

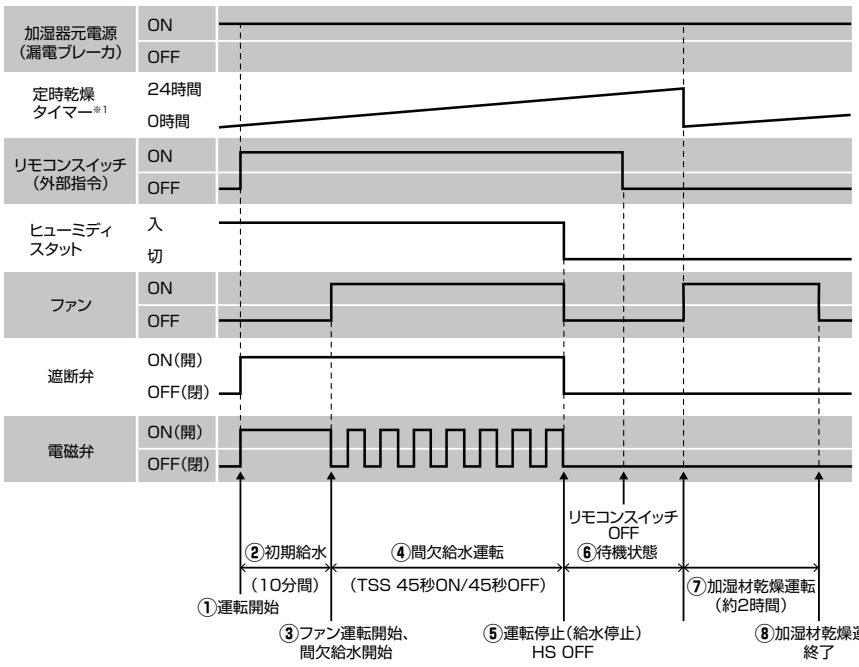
運転状態		A		B		C		D	E
		加湿運転		加湿運転（ヒューミ：ON）		待機状態（ヒューミ：OFF）		加湿材乾燥運転	運転停止
ヒューミディスタット		無		有				有無共通	
ファン強弱		強	弱	強	弱	強	弱	強弱共通	
表示灯	電源	○	○	○	○	○	○	－	－
	加湿	○	○	○	○	－	－	－	－
	強	○	－	○	－	○	－	－	－
	弱	－	○	－	○	－	○	－	－
	加湿材乾燥	－	－	－	－	－	－	○	－
	警報	－	－	－	－	－	－	－	－

A：ヒューミディスタット無の場合は、加湿運転 A のみとなります。
B：ヒューミディスタット有の場合でヒューミディスタット接点が ON であれば加湿運転 B になります。
C：加湿運転中 B にヒューミディスタットが OFF になると待機状態 C になります。ヒューミディスタットが ON になれば加湿運転 B を再開します。
D：給電積算時間（元電源 ON）を監視し、24 時間毎に自動で加湿材乾燥運転 D を実施します。
※製品生産時期によっては、初回のみ給電後 12 時間で乾燥運転を行う場合があります。詳細はあらかじめお渡しした仕様書をご確認ください。
E：加湿中 A B、または待機状態 C にて運転ボタンを押すと運転停止 E の状態になります。
※リモコンスイッチまたは外部指令信号入力による運転OFF後の再運転時や加湿材乾燥運転時のファン強弱は、運転停止前の状態が「強」であれば「強」で運転し、運転停止前の状態が「弱」であれば「弱」で運転を開始します。警報発報時は警報表示灯が点灯します。

6-2 基本的な運転動作

- 運転ボタンまたは外部指令信号入力、およびヒューミディスタット ON 時など、加湿器の運転開始時はファンを停止した状態で連続給水を行って加湿モジュールを湿潤させ、給水による臭い成分などの洗い流しを行います（初期給水 10 分間）。
- 初期給水後、間欠給水（TSS：Time Sharing System）となり、ファンが運転し加湿を行います。
- 加湿材乾燥運転は給水を停止した状態でファンのみを運転させ、加湿モジュールを乾燥（約 2 時間）させた後、自動停止します。

図 -6 運転動作タイミングチャート



基本運転動作

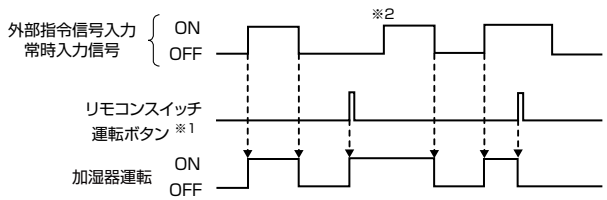
①運転ボタンまたは外部指令信号入力、およびヒューミディスタット ON による運転開始
②初期給水開始（連続給水、ファン OFF）
③ファン運転開始、間欠給水開始
④間欠給水運転（ドレン排水用ポンプはドレンパン内の水位に応じて自動発停します）
⑤ヒューミディスタット OFF による運転停止
⑥待機状態（給水停止）
⑦定時乾燥タイマーによる加湿材乾燥運転（約 2 時間）
⑧加湿材乾燥運転終了（ファン停止）

※1：製品生産時期によっては、初回のみ給電後 12 時間で乾燥運転を行う場合があります。詳細はあらかじめお渡しした仕様書をご確認ください。
※：待機中、再度ヒューミディスタット ON により運転開始した場合、初期給水の動作に戻ります。

6-3 リモコンスイッチ、外部指令信号入力の後押し優先機能

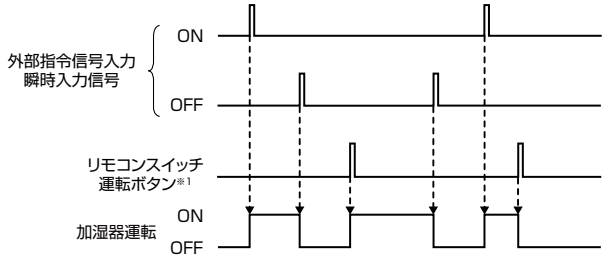
- リモコンスイッチでの発停の他に外部指令信号入力による発停を併用する場合、後押し優先で動作します（図 -7、8）。
- 外部指令信号入力の種類は常時入力と瞬時入力に対応しています。出荷時設定は常時入力信号となっています。瞬時入力信号とする場合は、P.12「5 外部指令信号入力による遠方発停を行う場合の設定」を参照して設定を変更してください。

図 -7 常時入力信号動作タイミングチャート
（ヒューミディスタット ON 時）



※ 1：運転ボタンは、停止中に押すと運転し、運転中に押すと停止します。
※ 2：後押し優先動作のため、外部指令信号入力で強制停止させる場合は接点 ON → OFF 入力が必要になります。また、強制運転させる場合は接点 OFF → ON 入力が必要になります。

図 -8 瞬時入力信号動作タイミングチャート
（ヒューミディスタット ON 時）



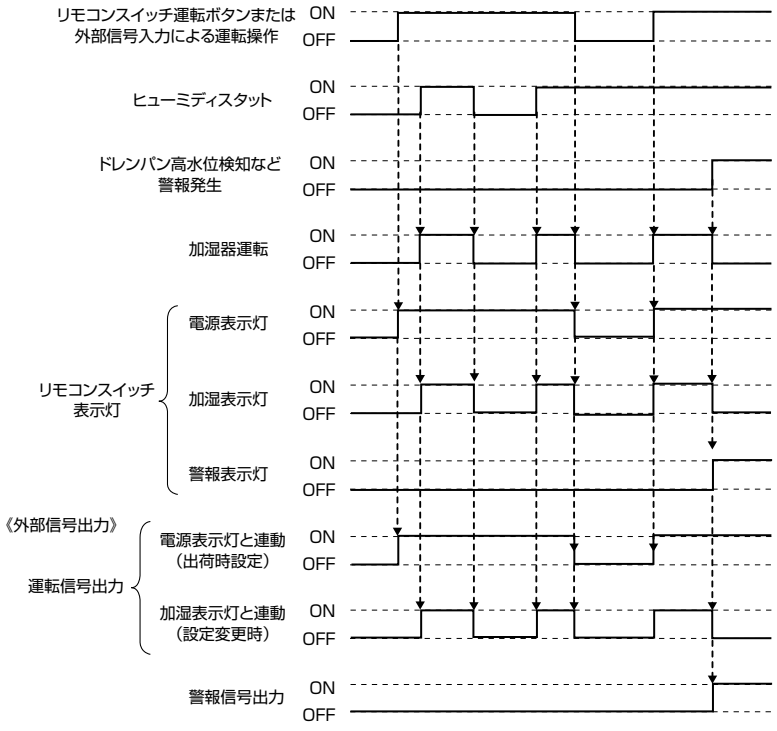
※ 1：運転ボタンは、停止中に押すと運転し、運転中に押すと停止します。

6-4 運転動作と外部信号出力（運転信号、警報信号）

- 運転信号はリモコンスイッチまたは外部指令信号入力による運転操作状態であることを示す電源表示灯との連動、またはヒューミディスタット ON で加湿器が運転していることを示す加湿表示灯との連動のどちらかを選択できます。
  出荷時設定では、電源表示灯と連動して出力するように設定されています。加湿表示灯と連動させる場合には P.8「3-2 運転信号出力（外部信号出力）を使用する場合」を参照して設定を変更してください。
- 警報信号はドレンパン高水位検知など安全保護機能作動時に出力されます。警報発報時には**警報を発報した加湿器の運転を停止**し、リモコンスイッチの警報表示灯が点灯します。復旧するには警報の原因を解消した後に、加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にしてください。

※リモコンスイッチの運転ボタンによる入 / 切では解除されません。

図 -9 運転信号出力タイミングチャート



7 ヒューミ付リモコンによる各種設定

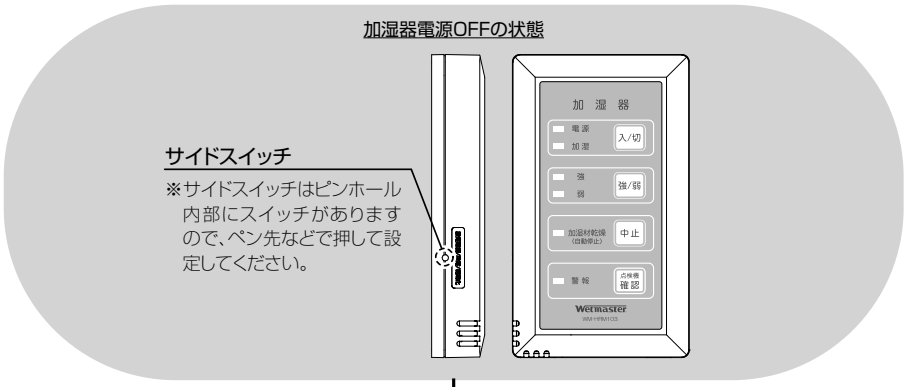
7-1 各モードについて

●ヒューミ付リモコンでは表 -6 のように 3 つのモードがあり、各モードによって操作方法が異なります。下記表から各項目のページを参照し、設定・確認を行ってください。

表 -6 各モードの概要

モード	概要	設定方法詳細
設定モード	**a** 使用するヒューミディスタットの選択	P.16
	b ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器との連動運転設定	P.17
	c 湿度検知の感度変更	P.18
	d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度の変更	P.19
設定確認モード	設定モード **a** で設定した内容を確認	P.20 ～ 21
	設定モード **b** で設定した内容を確認	
	設定モード **c** で設定した内容を確認	
	設定モード **d** で設定した内容を確認	
設定初期化モード	一括で設定内容を初期化（出荷時設定の内容へ戻す）	P.22

各モードにおける設定の流れ



設定モード

サイドスイッチを3秒間長押し
↓
電源表示灯（緑）が点灯
↓
上記表 **a** **b** **c** を設定
（設定方法は表記載の各ページ参照）
↓
サイドスイッチを1回押す
↓
上記表 **d** を設定
（設定方法は表記載の各ページ参照）
↓
サイドスイッチを1回押す
↓
強表示灯（橙）が3秒間点灯
↓
設定が保存され、自動的にリモコンの電源OFF

設定確認モード

サイドスイッチを1回押す
↓
電源表示灯（緑）が10秒間点灯
電源表示灯（緑）10秒間点灯中に
上記表 **a** **b** **c** で設定した内容を確認
（確認方法は表記載の各ページ参照）
↓
10秒経過
↓
上記表 **d** で設定した内容を確認
（確認方法は表記載の各ページ参照）
↓
10秒経過
↓
自動的にリモコンの電源OFF

設定初期化モード

サイドスイッチを10秒間長押し
↓
電源表示灯（緑）、加湿表示灯（緑）、
強表示灯（橙）の3ヶ所が3秒間点灯
↓
設定が初期化され、自動的にリモコンの電源OFF

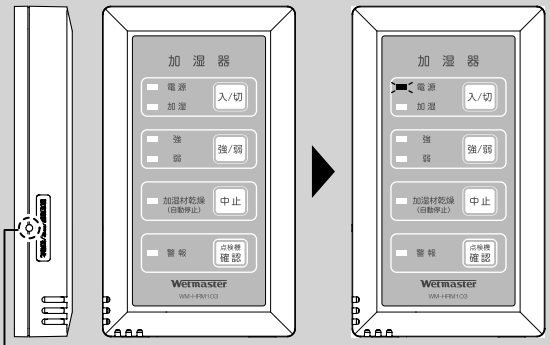
7-2 設定モード

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

a 使用するヒューミディスタットの選択

●ヒューミ付リモコンの出荷時設定は、リモコンスイッチに内蔵されたヒューミディスタットを使用して湿度検知する設定になっています。加湿器本体（VCJ1501A）に内蔵されたヒューミディスタット、または客先ご用意の外部ヒューミディスタットで湿度検知する場合に設定変更が必要となります。

1



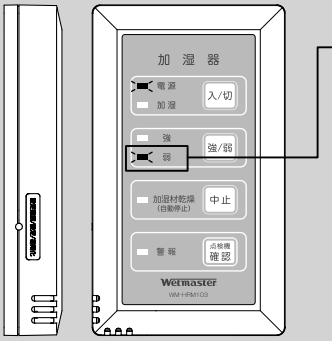
サイドスイッチ

※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

1 -1 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源OFF）で、サイドスイッチを 3 秒間長押しします。

1 -2 電源表示灯（緑）が点灯します。

2



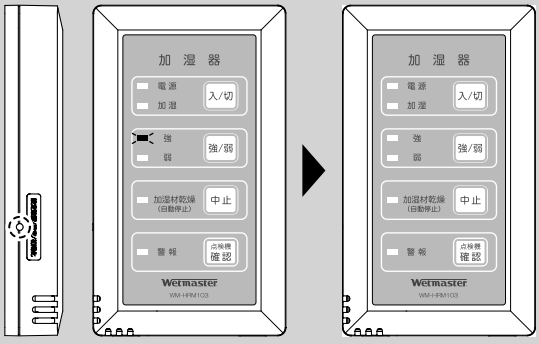
例）加湿器本体側で湿度検知する

2 下記表を参照し、使用するヒューミディスタットに応じて弱表示灯を点灯または消灯させてください。弱表示灯の点灯 / 消灯は、強 / 弱切替ボタンを押すことで切り替えができます。

加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタット、または客先ご用意の外部ヒューミディスタットで湿度検知する場合	弱表示灯を**点灯**に切り替える
リモコンスイッチに内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合（出荷時設定）	弱表示灯を**消灯**に切り替える

※弱表示灯に加え、加湿材乾燥表示灯や警報表示灯が点灯する場合は、出荷時設定から何らかの設定変更がされています。現状の各設定内容を確認する場合は、P.20「7-3 設定確認モード」を参照してください。

3



3 -1 サイドスイッチを 2 回押します。

3 -2 強表示灯（橙）が 3 秒間点灯します。

3 -3 電源が OFF となり、設定保存が完了します。

※設定した内容を改めて確認する場合は、P.20「7-3 設定確認モード」で確認できます。

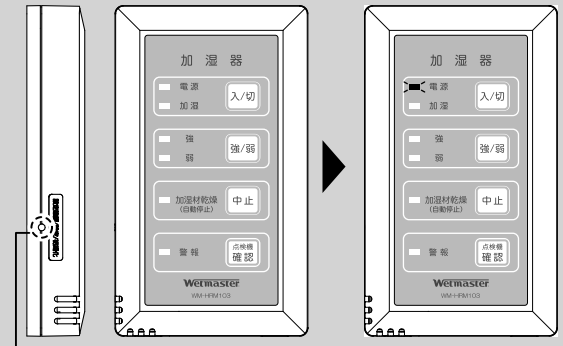
b ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器との連動運転設定

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

- VCJ1501 とヒューミ付リモコンの組み合わせで使用する場合のみ該当する設定です。
- **加湿器本体の端子（L1, L2）を空調機などの外部機器との連動運転端子として使用することができます。**出荷時設定は「外部機器と連動運転しない」設定となっているため、外部機器と連動運転をする場合に設定変更が必要となります。
- 配線接続については P.10「4-2 ヒューミ付リモコンで連動運転を行う場合」をご参照ください。

※外部機器が OFF の時にリモコンの操作と外部指令入力による運転が無効となり、加湿器単独の運転が制限されます。この状態で運転ボタンを押した場合、電源表示灯と加湿表示灯が3秒間交互に点灯します。ただし外部指令入力による運転指示の場合には表示灯は交互点灯しません。

1



サイドスイッチ

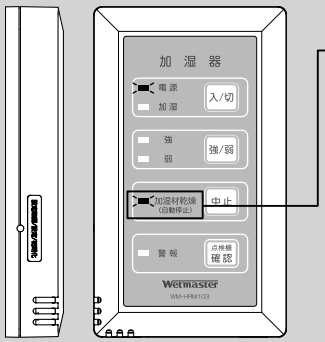
※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

1-1 外部機器の接点を OFF にします。

1-2 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源OFF）で、サイドスイッチを 3 秒間長押しします。

1-3 電源表示灯（緑）が点灯します。

2



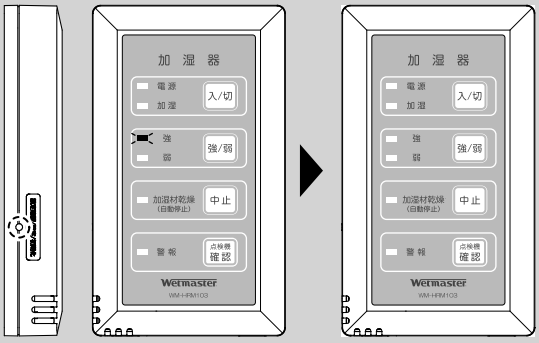
例）加湿器と外部機器を連動運転する

2 加湿器と外部機器を連動する場合は下記表を参照し、加湿材乾燥表示灯を点灯させてください。加湿材乾燥表示灯の点灯 / 消灯は、加湿材乾燥中止ボタンを押すことで切り替えができます。

外部機器と連動運転する場合	加湿材乾燥表示灯を**点灯**に切り替える
外部機器と連動運転しない場合（出荷時設定）	加湿材乾燥表示灯を**消灯**に切り替える

※加湿材乾燥表示灯に加え、弱表示灯や警報表示灯が点灯する場合は、出荷時設定から何らかの設定変更がされています。現状の各設定内容を確認する場合は、P.20「7-3 設定確認モード」を参照してください。

3



3-1 サイドスイッチを 2 回押します。

3-2 強表示灯（橙）が 3 秒間点灯します。

3-3 電源が OFF となり、設定保存が完了します。

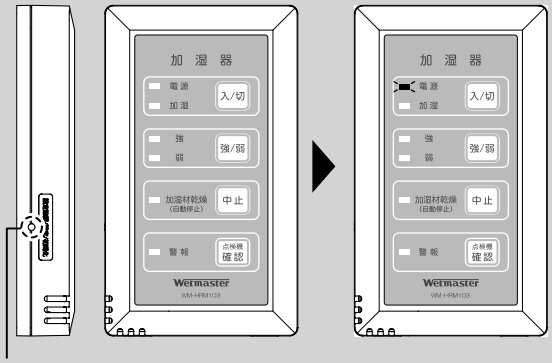
※設定した内容を改めて確認する場合は、P.20「7-3 設定確認モード」で確認できます。

C 湿度検知の感度変更

●ヒューミディスタットの湿度検知の感度を「高」・「低」の 2 種類から選択することができます。
出荷時設定は「高」で、通常は設定変更なしでご使用いただけます。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

1



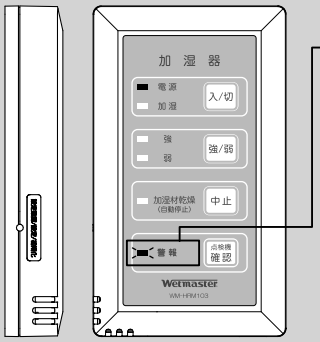
サイドスイッチ

※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、
ペン先などで押して設定してください。

1 -1 電源表示灯が消灯している状態(加湿器電源OFF)で、
サイドスイッチを 3 秒間長押しします。

1 -2 電源表示灯（緑）が点灯します。

2



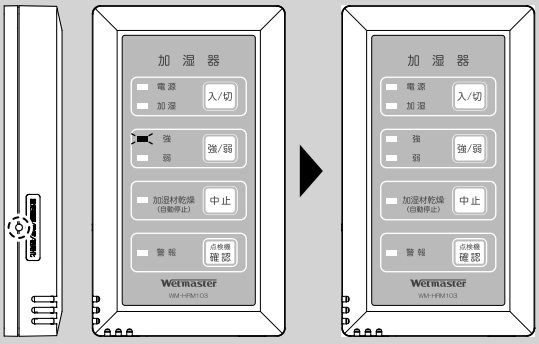
例）感度を「低」へ変更する

2 湿度検知の感度を変更する場合は下記表を参照し、
警報表示灯を点灯または消灯させてください。警報表示灯の点灯 / 消灯は、
点灯機確認ボタンを押すことで切り替えができます。

湿度検知の感度「低」	警報表示灯を**点灯**に 切り替える
湿度検知の感度「高」（出荷時設定）	警報表示灯を**消灯**に 切り替える

※警報表示灯に加え、加湿材乾燥表示灯や弱表示灯が点灯する場合は、出荷時設定から何らかの設定変更がされています。現状の各設定内容を確認する場合は、P.20「7-3 設定確認モード」を参照してください。

3



3 -1 サイドスイッチを 2 回押します。

3 -2 強表示灯（橙）が 3 秒間点灯します。

3 -3 電源が OFF となり、設定保存が完了します。

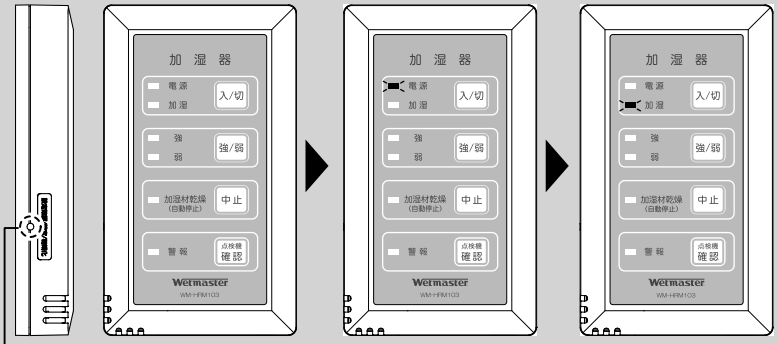
※設定した内容を改めて確認する場合は、P.20「7-3 設定確認モード」で確認できます。

d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度の変更

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

●35%RH ～ 70%RH の範囲で 5%単位で設定が可能です（湿度設定ヒステリシス：－ 5% RH）。
また、出荷時設定は 40%RH です。設定湿度を変更する場合は、以下の手順で行ってください。

1

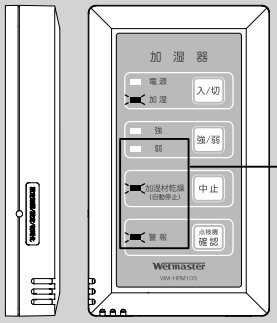


サイドスイッチ

※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

1-1 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、サイドスイッチを 3 秒間長押しします。
1-2 電源表示灯（緑）が点灯します。
1-3 サイドスイッチを 1 回押します。
1-4 電源表示灯（緑）が消灯し、加湿表示灯（緑）が点灯する。

2



例）設定湿度 50%RH

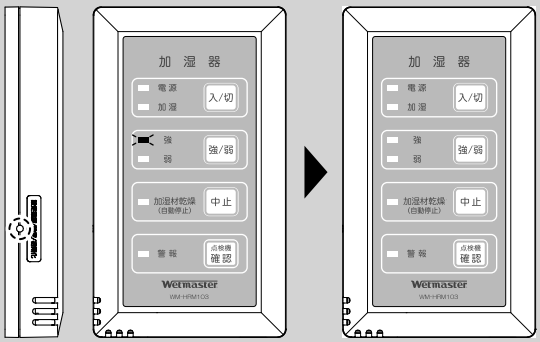
2 設定湿度は、
弱表示灯・加湿材乾燥表示灯・警報表示灯 の点灯 / 消灯の組み合わせによって設定します。
以下の組み合わせ一覧から希望設定湿度の点灯パターンを参照し、希望湿度を設定してください。各表示灯の点灯 / 消灯は、下記の各ボタンを押すことで切り替えができます。
・弱表示灯⇒強 / 弱切替ボタン
・加湿材乾燥表示灯⇒中止ボタン
・警報表示灯⇒点検機確認ボタン

設定湿度の表示灯組み合わせ一覧

【■: 点灯、□ : 消灯を示します】

35%RH	40%RH（出荷時設定）	45%RH	50%RH	55%RH	60%RH	65%RH	70%RH

3



3-1 サイドスイッチを 1 回押します。

3-2 強表示灯（橙）が 3 秒間点灯します。

3-3 電源が OFF となり、設定保存が完了します。

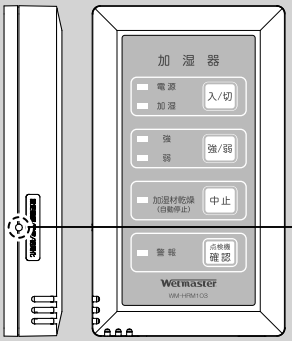
※設定した内容を改めて確認する場合は、P.20「7-3 設定確認モード」で確認できます。

7-3 設定確認モード

●P.16 ～ 19 の設定モード **a** · **b** · **c** · **d** の現状の設定状態を確認できます。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

1

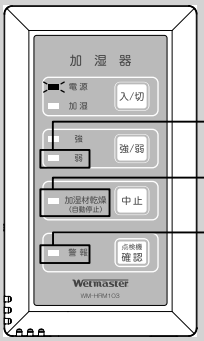


1 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、サイドスイッチを 1 回押します。

サイドスイッチ

※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

2



2 電源表示灯（緑）が 10 秒間点灯します。この 10 秒間の間に、各表示灯の点灯または消灯から、

a 湿度検知するヒューミディスタットの確認

b 外部機器と連動運転を行うかどうかの確認

c 湿度検知の感度

以上 3 つの現状の設定状態を確認します。
下記表を参照し、各設定状態を確認してください。

a 湿度検知するヒューミディスタットの確認	
弱表示灯が点灯している場合	加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタット、または客先ご用意の外部ヒューミディスタット
弱表示灯が消灯している場合	リモコンスイッチに内蔵されたヒューミディスタット

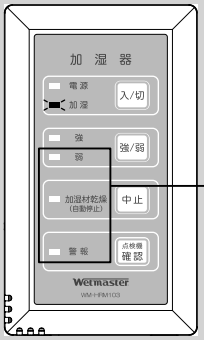
b 外部機器と連動運転をするかどうかの確認	
加湿材乾燥表示灯が点灯している場合	外部機器と連動運転する
加湿材乾燥表示灯が消灯している場合	外部機器と連動運転しない

c ヒューミディスタット感度の確認	
警報表示灯が点灯している場合	湿度検知の感度「低」
警報表示灯が消灯している場合	湿度検知の感度「高」

▼ 10 秒経過後（次ページへ続く）

▼ 10 秒経過後（前ページからの続き）

3



3 電源表示灯（緑）が消灯し、加湿表示灯（緑）が 10 秒間点灯します。
この 10 秒間の間に、

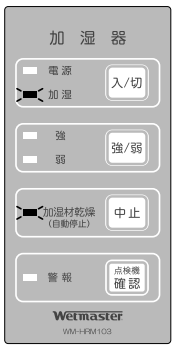
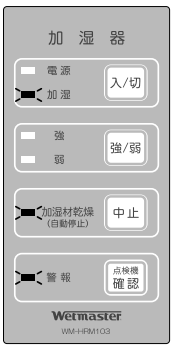
d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度

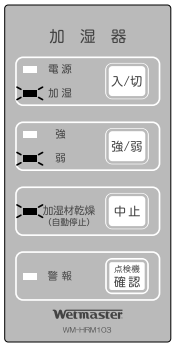
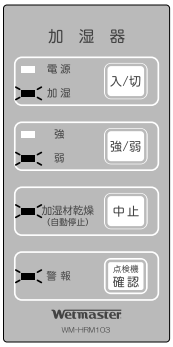
の現状の設定状態を確認します。設定湿度は、

弱表示灯・加湿材乾燥表示灯・警報表示灯 の点灯 / 消灯の組み合わせによって確認できます。以下の組み合わせ一覧から現状の点灯パターンを参照し、設定湿度を確認してください。

設定湿度の表示灯組み合わせ一覧

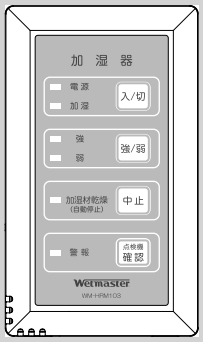
【 ▬ : 点灯、 ▭ : 消灯を示します】

35% RH	40% RH (出荷時設定)	45% RH	50% RH
			

55% RH	60% RH	65% RH	70% RH
			

▼ 10 秒経過後

4



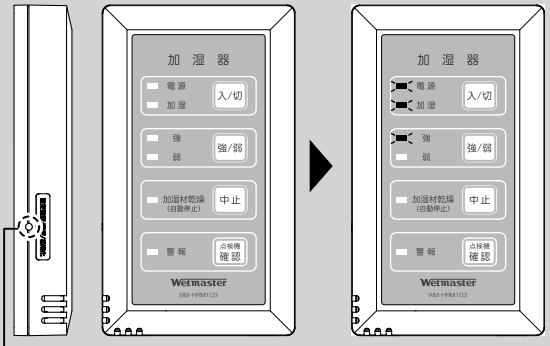
4 加湿表示灯が消灯し、電源が OFF の状態へ戻ります。

7-4 設定初期化モード

●ヒューミ付リモコンで設定した内容を一括で初期化します(出荷時設定の内容へ戻る)。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

1



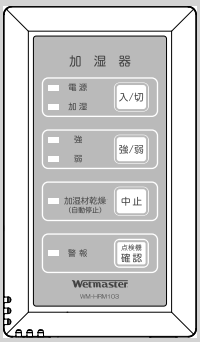
サイドスイッチ

※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、
ペン先などで押して設定してください。

1 -1 電源表示灯が消灯している状態(加湿器電源OFF)で、サイドスイッチを 10 秒間長押しします。

1 -2 電源表示灯(緑)、加湿表示灯(緑)、強表示灯(橙)が同時に 3 秒間点灯します。

2



2 電源が OFF の状態へ戻ります。以上で初期化は完了です。
各項目の出荷時設定は以下表をご参照ください。

a 使用するヒューミディスタットの選択	リモコンスイッチに内蔵されたヒューミディスタット
b ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器と連動運転を行うための設定	連動運転しない
c 湿度検知の感度変更	高
d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度の変更	40% RH

8 VCJ1501A内蔵ヒューミディスタットの設定湿度変更

当項目は、VCJ1501A に内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合のみ必要な設定です。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ1501	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ1501A	標準	VCJ1501A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ1501A

⚠ 警告

ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う

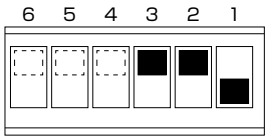
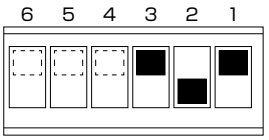
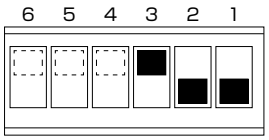
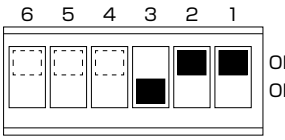
❗ 通電したままの作業は感電の原因になります。

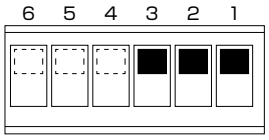
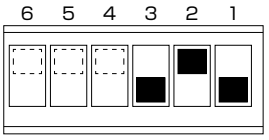
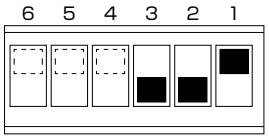
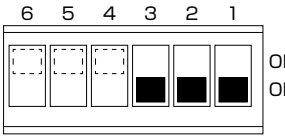
●湿度設定の出荷時設定は 40%RH です。変更する場合は、以下の手順で行ってください。

1 加湿器本体のヒューミディスタットユニットカバーを取り外します（P.4 図 -2）。

2 P.4 図 -2 からヒューミディスタットユニット上のディップスイッチの位置、表 -7 から希望設定湿度のディップスイッチパターンを参照し、ディップスイッチ（S1 1 ～ 3 番ピン）の ON/OFF を変更してください。

表 -7 VCJ1501Aに内蔵されたヒューミディスタットの湿度設定におけるディップスイッチ（S1）の組み合わせ

35% RH	40% RH（出荷時設定）	45% RH	50% RH
			

55% RH	60% RH	65% RH	70% RH
			

9 標準グループ制御以外の制御パターンについて

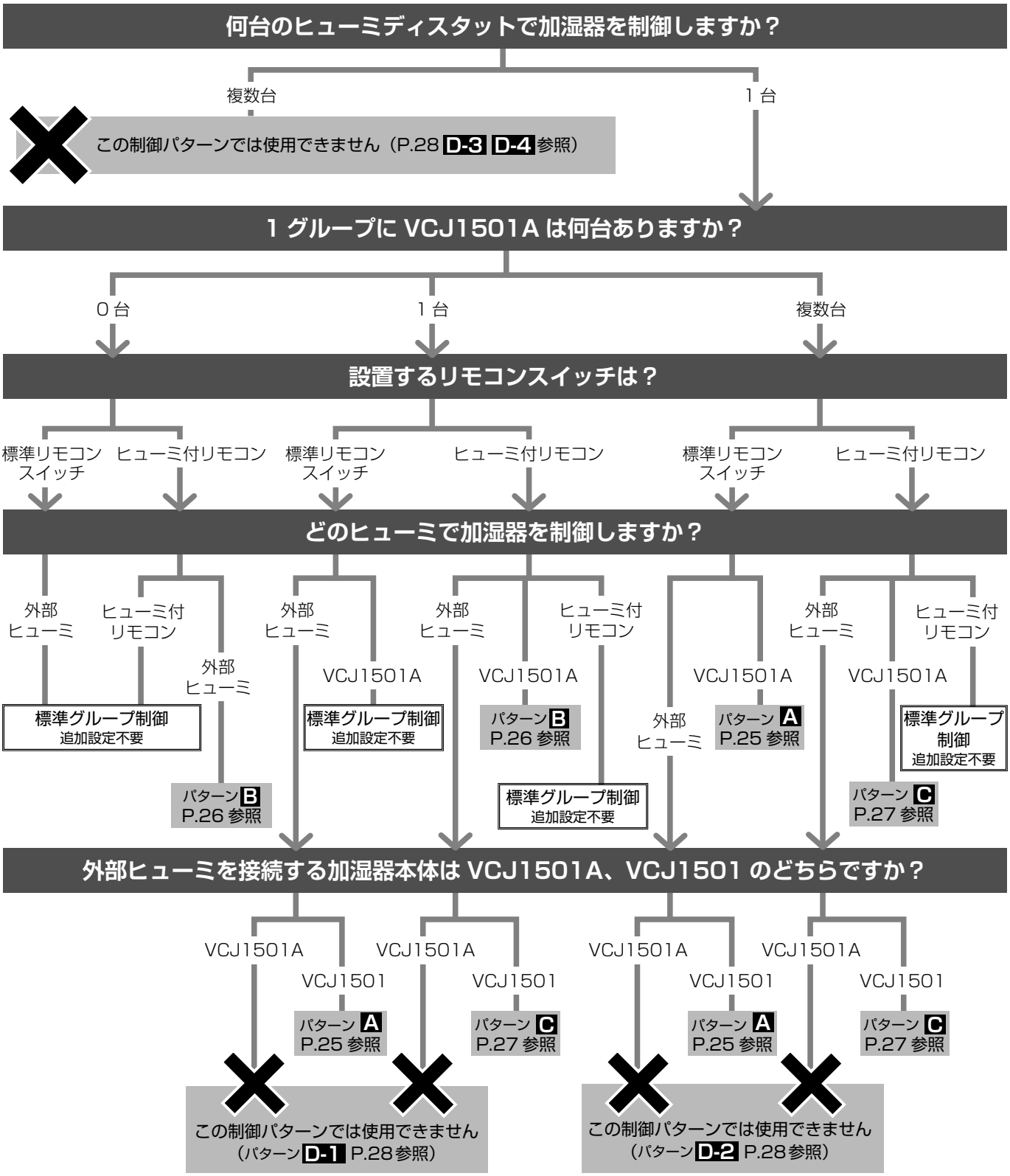
9-1 グループ制御パターンの確認

⚠注意

事前に計画された制御方法・設置場所に設置する

❗事前に計画された制御方法・設置場所に設置されない場合、正常な湿度検知ができないことがあります。

●ヒューミ内蔵型 VCJ1501A は、グループ制御、加湿制御を行う際に制約があります。下記フローチャートで計装パターンを確認し、**標準グループ制御以外のパターンの場合は、参照ページに記載の設定作業を行ってください。**

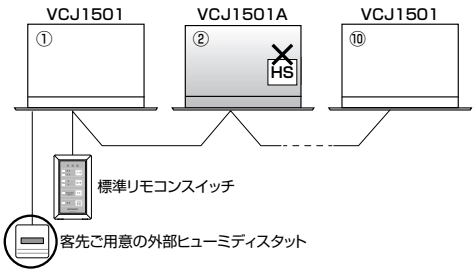


9-2 VCJ1501A 内蔵ヒューミディスタットを無効化する

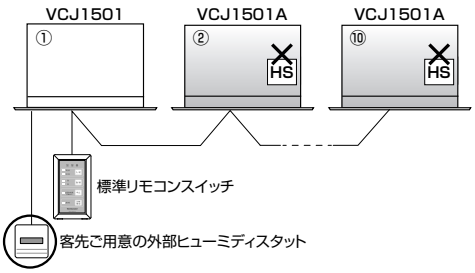
制御グループ パターン A

下記の計装パターンの何れかで施工する場合は、VCJ1501A の内蔵ヒューミディスタットを無効化する必要があります。

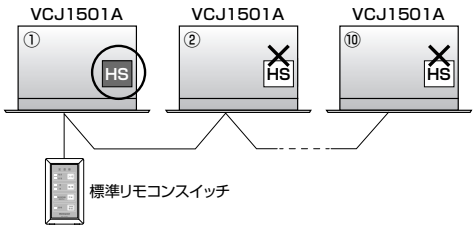
※○は湿度検知するヒューミディスタット、×は使用しないヒューミディスタットを表します。



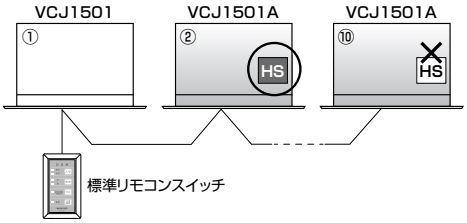
●VCJ1501 複数台と VCJ1501A 1 台を標準リモコンスイッチでグループ運転させる組合せで、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを VCJ1501 に接続して使用する。



●VCJ1501 と VCJ1501A 複数台を標準リモコンスイッチでグループ運転させる組合せで、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを VCJ1501 に接続して使用する。



●VCJ1501A 複数台を標準リモコンスイッチでグループ運転させる組合せで、1 台（任意）の内蔵ヒューミディスタットを有効（親機）にして使用する。



●VCJ1501 と VCJ1501A 複数台を標準リモコンスイッチでグループ運転させる組合せで、1 台（任意）の内蔵ヒューミディスタットを有効（親機）にして使用する。

⚠警告

ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う

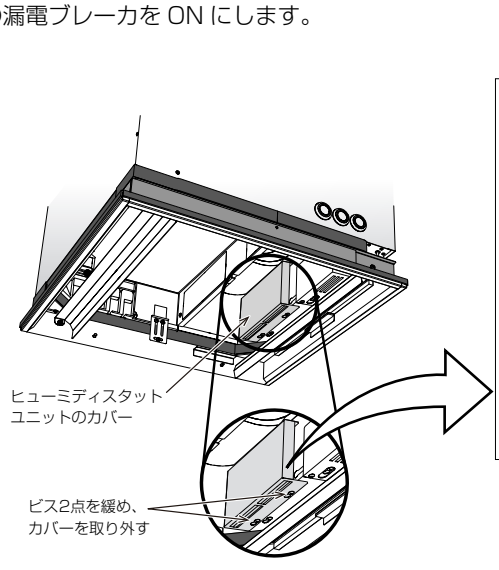
通電したままの作業は感電の原因になります。

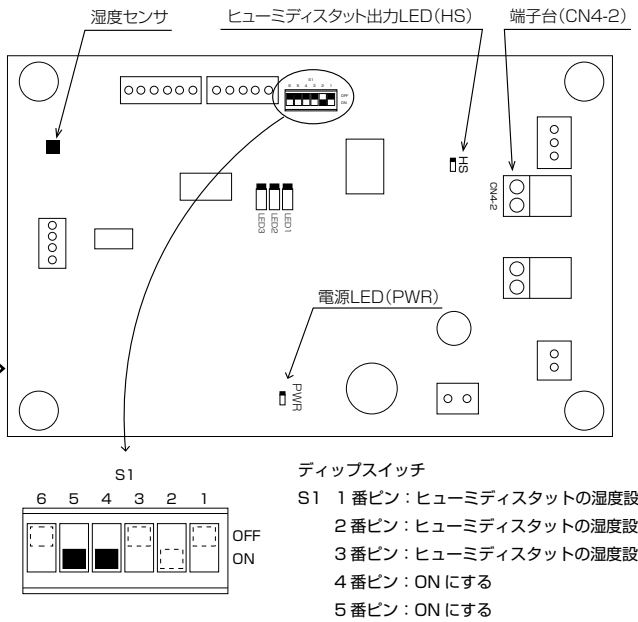
●VCJ1501A 内蔵ヒューミディスタットを無効化する

1 加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にします。

2 ヒューミディスタットユニットのディップスイッチ 4 番ピン、5 番ピンを ON にする。

3 加湿器元電源の漏電ブレーカを ON にします。





ディップスイッチ

S1　1 番ピン：ヒューミディスタットの湿度設定

　　2 番ピン：ヒューミディスタットの湿度設定

　　3 番ピン：ヒューミディスタットの湿度設定

　　4 番ピン：ON にする

　　5 番ピン：ON にする

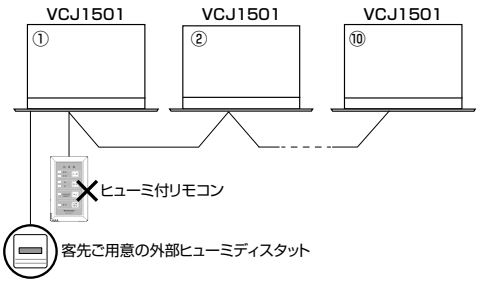
　　6 番ピン：必ず OFF にしてください

9-3 ヒューミ付リモコンで湿度検知するヒューミディスタットを選択する

制御グループ パターン B

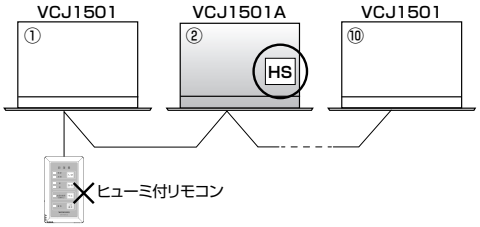
下記の計装パターンの何れかで施工する場合は、ヒューミ付リモコン上で湿度検知するヒューミディスタットを選択する設定が必要になります（出荷時設定では「ヒューミ付リモコンで湿度検知」するに設定されています）。

※○は湿度検知するヒューミディスタット、×は使用しないヒューミディスタットを表します。



●VCJ1501 複数台をヒューミ付リモコンでグループ運転させる組合せで、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを使用する。

⇒下記 1 ～ 3 の手順を参照し、設定を行う。



●VCJ1501 複数台と VCJ1501A 1 台をヒューミ付リモコンでグループ運転させる組合せで、VCJ1501Aの内蔵ヒューミディスタットを使用する。

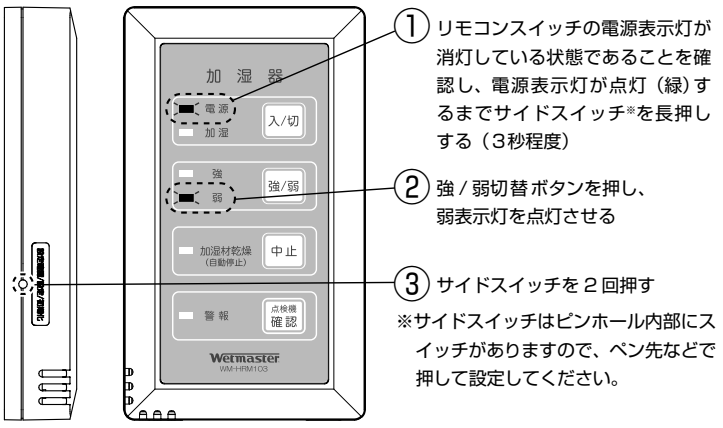
⇒下記 1 ～ 3 の手順を参照し、設定を行う。

1 リモコンスイッチの電源表示灯が消灯していることを確認後、電源表示灯が点灯（緑）するまでサイドスイッチを長押しします（3秒程度、右図①）。

2 強 / 弱切替ボタンを押し、弱表示灯を「点灯」または「消灯」させ湿度検知するヒューミディスタットを選択します（右図②）。

ヒューミディスタットの切替における弱表示灯の点灯状態	
点灯	・VCJ1501A 内蔵ヒューミディスタット ・客先ご用意の外部ヒューミディスタット
消灯	・ヒューミ付リモコンのヒューミディスタット（出荷時設定）

3 サイドスイッチを 2 回押します（右図③）。強表示灯が 3 秒間点灯し、その後、強表示灯が消灯したら設定が保存され、完了です。

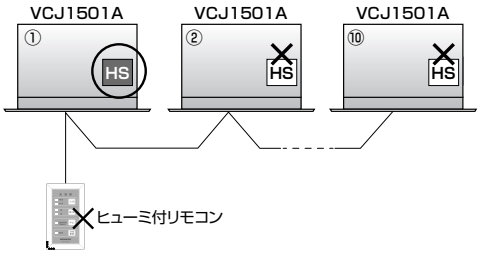


9-4 VCJ1501A 内蔵ヒューミディスタットを無効化し、ヒューミ付リモコンで湿度検知するヒューミディスタットを選択する

制御グループ パターン C

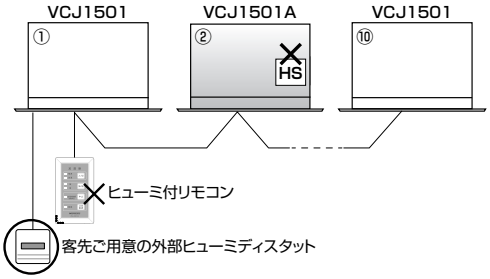
下記の計装パターンの何れかで施工する場合は、VCJ1501A の内蔵ヒューミディスタットを無効化し、さらにヒューミ付リモコンで湿度検知するヒューミディスタットを選択する設定が必要になります。

※○は湿度検知するヒューミディスタット、×は使用しないヒューミディスタットを表します。



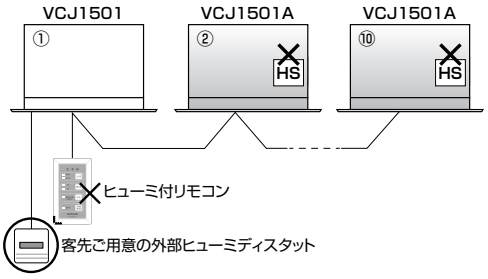
●VCJ1501A（複数台）をヒューミ付リモコンでグループ運転させる組合せで、1 台（任意）の内蔵ヒューミディスタットを有効（親機）にして使用する。

⇒下記 1 ～ 2 の手順を参照し、設定を行う。



●VCJ1501（複数台）と VCJ1501A（1 台）をヒューミ付リモコンでグループ運転させる組合せで、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを VCJ1501 に接続して使用する。

⇒下記 1 ～ 2 の手順を参照し、設定を行う。



●VCJ1501（複数台）と VCJ1501A（1 台または複数台）を標準リモコンスイッチでグループ運転させる組合せで、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを VCJ1501 に接続して使用する。

⇒下記 1 ～ 2 の手順を参照し、設定を行う。

1 P.25「9-2VCJ1501A 内蔵ヒューミディスタットを無効化する」を参照し、湿度検知を行わないすべての VCJ1501A ヒューミディスタットユニットのディップスイッチ 4 番ピン、5 番ピンを ON に変更し、内蔵ヒューミディスタットを無効化する。

2 P.26「9-3 ヒューミ付リモコン上で湿度検知するヒューミディスタットを選択する」を参照し、湿度検知するヒューミディスタットを「客先ご用意の外部ヒューミディスタット」に設定する。

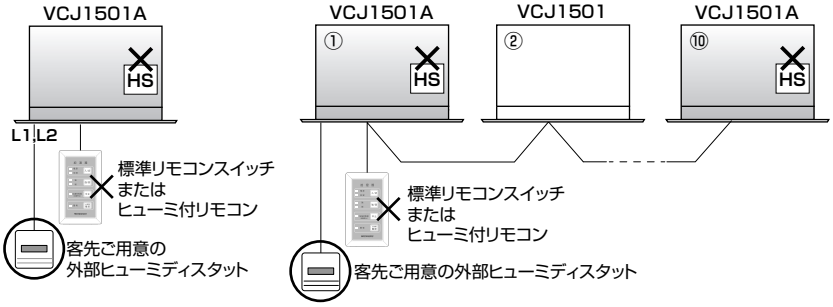
9-5 使用できない制御パターン

制御グループ パターン D
この計装パターンでは、以下の理由から対応することができません

✕不可 D-1 D-2

1 台または複数台の VCJ1501A 内蔵ヒューミを無効にし、
客先ご用意の外部ヒューミディスタットを VCJ1501A に接続して湿度検知させる。

- ●機器構成　加湿器　：VCJ1501A
  リモコン：ヒューミ付リモコンまたは標準リモコンスイッチ
- ●湿度検知　客先ご用意の外部ヒューミディスタットにて検知させる



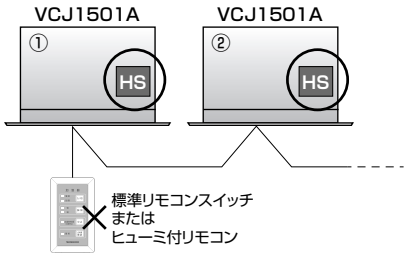
VCJ1501A の L1-L2 端子は連動運転用端子のため、客先ご用意の外部ヒューミディスタットは使用できません。

このパターンで結線した場合
客先ご用意ヒューミディスタットの状態（ON・OFF）に関わらず、全加湿器が運転しません。

✕不可 D-3

同一制御グループで、複数台の VCJ1501A 内蔵ヒューミディスタットで湿度検知させる。

- ●機器構成　加湿器　：VCJ1501A 複数台
  リモコン：ヒューミ付リモコンまたは標準リモコンスイッチ
- ●湿度検知　複数台の VCJ1501A 内蔵ヒューミディスタットで検知させる



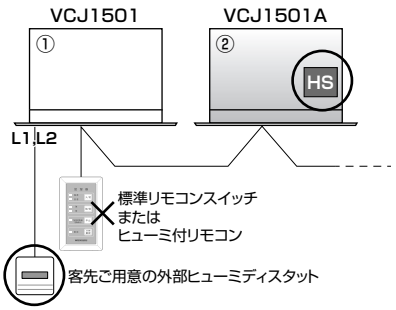
湿度に対する運転状態が不一致となるため、使用できません。

このパターンで結線した場合
- ・どちらかのヒューミディスタットが ON になることで全加湿器が加湿運転となります。
- ・全加湿器のヒューミディスタットが OFF にならないと加湿運転は停止せず、加湿過多になります。

✕不可 D-4

VCJ1501 と VCJ1501A の同一制御グループに、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを接続し、VCJ1501A 内蔵ヒューミディスタットと客先ご用意の外部ヒューミディスタットに湿度検知させる。

- ●機器構成　加湿器　：VCJ1501、VCJ1501A
  リモコン：ヒューミ付リモコンまたは標準リモコンスイッチ
- ●湿度検知　VCJ1501A 内蔵ヒューミディスタット、および客先ご用意の外部ヒューミディスタットで検知させる



湿度に対する運転状態が不一致となるため、使用できません。

このパターンで結線した場合
- ・どちらかのヒューミディスタットが ON になることで全加湿器が加湿運転となります。
- ・全加湿器のヒューミディスタットが OFF にならないと加湿運転は停止せず、加湿過多になります。

MEMO.

ウエットマスター株式会社

本社営業本部 〒161-8531　東京都新宿区中落合 3-15-15 WM本社ビル　TEL.03-3954-1101

●加湿器のメンテナンス、リニューアルに関するお問い合わせは、最寄りの各拠点へご連絡ください。

保守･サービス営業本部	〒161-8531 東京都新宿区中落合 3-15-15 カスタマーセンター	TEL.03-3954-1110
大 阪 支 店	〒540-0024 大阪市中央区南新町1-1-2 タイムスビル	TEL.06-4790-6606
名古屋営業所	〒464-0858 名古屋市千種区千種 1-15-1 ルミナスセンタービル	TEL.052-745-3277
仙 台 営 業 所	〒981-3133 仙台市泉区泉中央 3-27-7	TEL.022-772-8121
福 岡 営 業 所	〒812-0004 福岡市博多区榎田 2-1-10	TEL.092-471-0371

●業務用・産業用各種加湿器

●流量管理システム機器／エアロQシステム・カラムアイ

https://www.wetmaster.co.jp

QR コードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。

5710-021202